



広島国際大学 Town & Gown Office
東広島健幸ステーション

東広島市・広島国際大学 TGOキックオフイベント

令和6年度に開設した広島国際大学Town & Gown office「東広島健幸ステーション」について、東広島市と本学が連携して取り組む、「東広島市民の健幸(well-being)」事業をご紹介します。

2024年5月29日(水) 13:00~16:00

開催場所: 広島国際大学 東広島キャンパス 2号館8階

第1部

司会 総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科3年 広野玲紋
健康科学部心理学科3年 石井元貴

1. 開会

- ・市長挨拶 東広島市市長 高垣 廣徳
- ・学長挨拶 広島国際大学学長 清水 壽一郎
- ・来賓挨拶 厚生労働省中国四国厚生局局長 依田 泰
- ・来賓挨拶 広島県健康福祉局局長 北原 加奈子 (代理 健康づくり推進課課長 山下 十喜)
- ・来賓挨拶 東広島市議会議員 奥谷 求

2. 東広島健幸ステーションの紹介

- ・東広島市Town&Gown構想について 東広島市副市長 川口 一成
- ・広国大TGO 東広島健幸ステーションについて 広島国際大学副学長 堀 隆光

3. 主な連携事業の紹介

(1) 共同研究 (市×大学)

- ・睡眠測定分析事業
広島国際大学健康科学部教授 田中 秀樹
東広島市健康福祉部医療保健課主査 田村 美紅
- ・若者の自殺予防に資する心の健康教育プログラムの構築
広島国際大学健康科学部心理学科教授 西村 太志
広島国際大学健康科学部心理学科客員講師 太田 真貴
東広島市健康福祉部医療保健課主査 河内 文子
- ・プレフレイル状態にある高齢者の生活習慣の改善及びトレーニング手法の開発
広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科准教授 山崎 貴博
東広島市健康福祉部地域包括ケア推進課課長 渡邊 達生

(2) 健康づくり (市×大学×地域)

- ・みんな健幸プロジェクト
広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科准教授 徳森 公彦
東広島市健康福祉部医療保健課主任保健師 門川 ひとみ

(3) 企業連携 (大学×企業・団体)

- ・商品開発インターンシップ(株式会社大創産業)
広島国際大学健康科学部心理学科教授 石原 茂和
株式会社大創産業人事部採用課課長 寒川 健史
東広島市健康福祉部医療保健課課長補佐 本多 佳代
- ・車椅子ソフトボール 動作分析(広島サリーレ)
広島国際大学健康スポーツ学部教授 宮崎 龍二
広島Salire (サリーレ) 代表 江南 聖
東広島市健康福祉部障がい福祉課課長 河本 千枝

(4) 人材育成 (市×大学×地域×企業・団体)

- 広島国際大学健康科学部社会学科教授 橋本 清勇

第2部

4. 取組事例の紹介 (会場後方ブース)

- ・パネル展示 (各連携事業)
- ・睡眠測定分析事業解説
- ・ミニ健康フェア (体組成・骨密度測定)
- ・ダイソー商品展示 (株式会社大創産業)
- ・車椅子ソフトボール紹介・スポーツ用車椅子試乗体験 (広島Salire)
- ・東広島市市制施行50周年記念パネル展示



Town & Gown Office
Higashihiroshima×HIU

広島国際大学Town & Gown Office東広島健幸ステーション
〒739-2695東広島市黒瀬学園台555-36
TEL:(0823)69-6026 Email:hiu.chiiki02@joshu.ac.jp



Town & Gown構想とは

Town & Gown構想



- 地域（Town）と大学（Gown）双方の密接な連携により地域課題を解決する取組み
- 地域の自治体と大学が **包括的、日常的、継続的、組織的な関係** を構築の上自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成のための共創の場を通じて地方創生を実現し、**持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想**

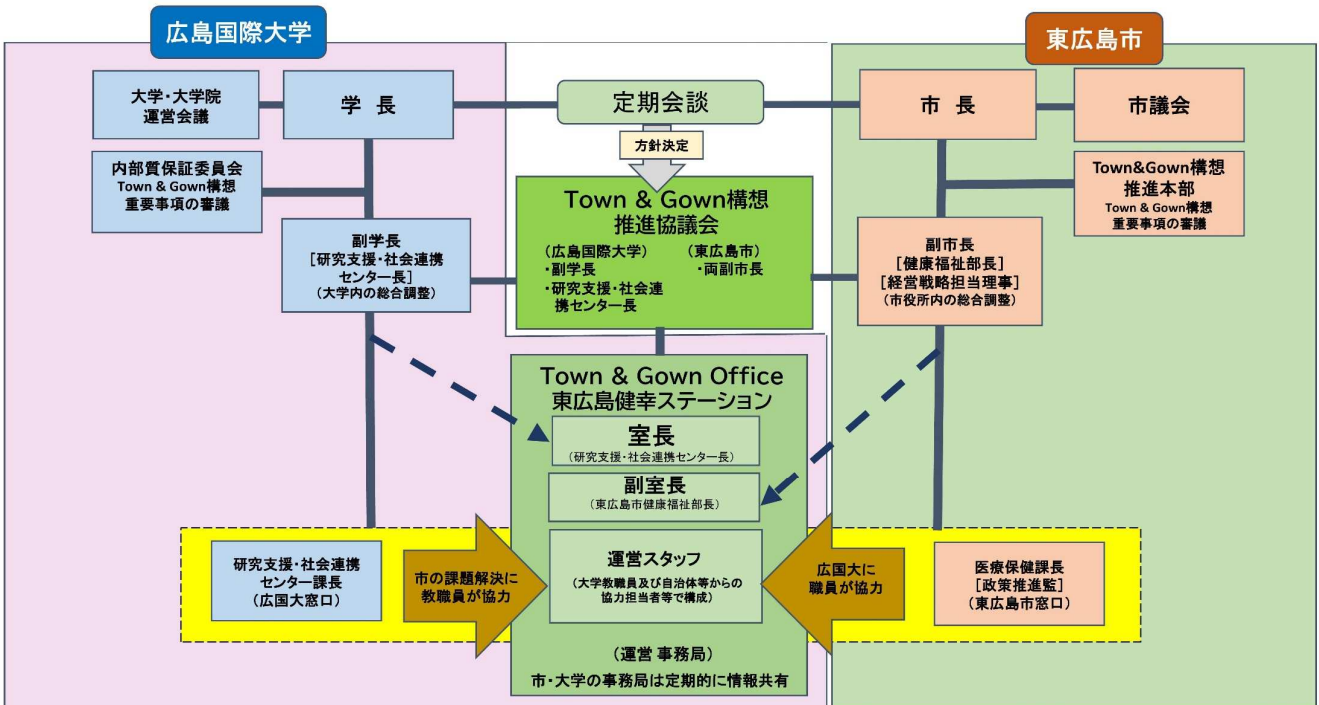


Town & Gown Office (TGO)

Town&Gown構想を推進するため、市と大学をつなぐ組織。

市、大学、そして構想に賛同した企業の人材が日常的に連携しながら構想を推進しています。広島国際大学では、2022年から設置に向けた協議が始まり、Town & Gown Office「東広島健幸ステーション」として、今年4月から稼働しています。

東広島健幸ステーション（Town & Gown Office）推進体制図





広島国際大学Town & Gown Office 「東広島健幸ステーション」のご案内



広島国際大学 Town & Gown Office

東広島健幸ステーション

広島国際大学の研究成果の社会実装や
企業・事業所の知見・プロダクトを活用して
東広島市民の健幸 (well-being) を高めます。

2024年4月始動



広島国際大学Town & Gown Office
「東広島健幸ステーション」
〒739-2695東広島市黒瀬学園台555-36
TEL(0823)69-6026 FAX(0823)70-4931
E-mail所属: hiu.chiiki02@josho.ac.jp

Town & Gown 構想

▶ Town & Gown構想は、日本を地域から躍動させるため、大学と大学が立地する地域の自治体が持続可能な未来のビジョンを共有し、包括的、日常的、継続的、組織的な関係を構築の上、**自治体の行政資源と大学の教育・研究資源**を融合しながら活用することで、地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成のための地域共創の場の形成を通じて地方創生を実現し、**持続的な地域の発展と大学の進化**をともに目指す構想です。

広島大学TGO



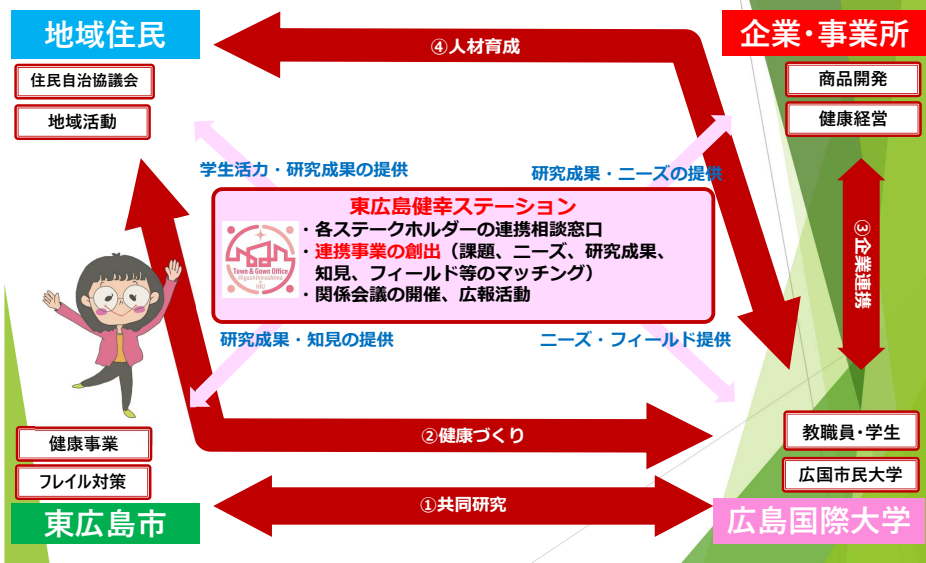
近畿大学TGO



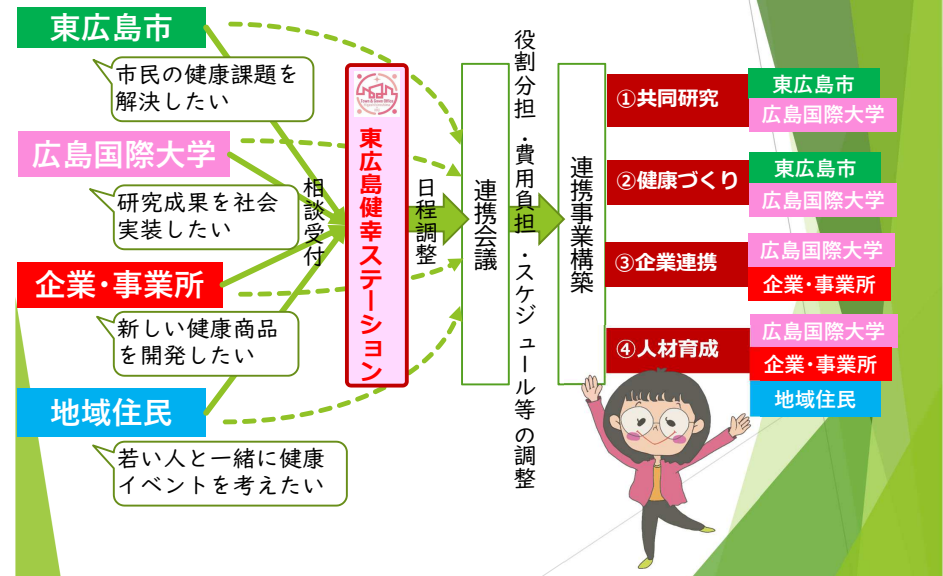
広島国際大学TGO



広島国際大学Town & Gown Office 「東広島健幸ステーション」



事務の流れ



共同研究 (COMMONプロジェクト)

連携事業名：睡眠測定分析による睡眠マネジメントの効果検証

実施者：広島国際大学健康科学部 田中秀樹教授(学部長) × 東広島市医療保健課

事業概要

世界最高水準の加速度計で睡眠の質、量、リズムを測定し、心身の健康、ライフスタイル、性格との関連を検討。

問題に対応した、具体的な改善メニューを提案、指導。

心身不調の早期発見、睡眠の可視化と睡眠マネジメント実施

睡眠・生活リズムについて、性・年齢別にみると、睡眠による休養が「とれていない」と回答した人の割合は、男女ともに、30・40・50歳代で高く、働く世代の課題である。

東広島市第3次健康増進計画の休養・こころの健康・自殺対策に必要な「睡眠」に関する施策を推進

心身の不調の早期発見、早期対応、快眠セミナー、睡眠相談睡眠健康指導士の育成などのメニューの実施により、働く世代の健康づくりによる事業所の健康経営の効果を促進

睡眠健康度測定サービス：『SLEEP COMPASS (スリープコンパス)』



健康経営・市民健康増進等に関心が高い企業・自治体を対象にして2023年5月より提供予定。すでに大手数社でトライアル実施済。

睡眠は寝れていると思っていても寝れていなかったり、その逆もあるため主観と客観的な観点からも反映してフィードバック。



7日間測定 (1日の練習を含む計8日間)

Web問診

睡眠測定

E-ラーニングや小テスト

フィードバック
個人レポート



+



睡眠の量
(時間)

睡眠の
リズム

睡眠の質
(覚醒)

8日間の測定が終了後に、E-ラーニングを提供。クイズや学習コンテンツで睡眠への意識を高め、生活習慣を見直すための知識定着の効果も。

☑ 毎日問診、ウェアラブル計測から行動と睡眠から行動実容を促すコメントをレポート
☑ e-ラーニングによる教育や、睡眠衛生指導も実施



令和6年度
東広島市睡眠測定事業

成人向け診断をはじめます



睡眠測定で
健康経営しませんか
参加事業者募集中!



良い睡眠で仕事のパフォーマンスをUP!

健康づくり推進事業所の社員を対象とした睡眠測定による、心身の不調の早期発見、早期対応、睡眠指導士の育成などのメニューの実施により、働く世代の健康づくりによる事業所の健康経営の効果を高めます。

睡眠測定対象者

1回目 活動量計装着(1週間)

測定結果フィードバック

E-ラーニング
快眠セミナー

2回目 活動量計装着(1週間)

測定結果フィードバック

健幸とストレス緩和
のための睡眠法
～生活リズム健康法～

前向き思考でストレス緩和

マイナスからプラスへ転換
(例)三日寝ただけ→三日も続いた
ストレスは、その人の
思い込みの産物!

ポジティブ
リフレーミング

目標に向け
思いこむ
でなし!

対象 健康づくり推進事業所(社員)
募集期間 令和6年5月 日～令和6年5月 日
実施期間 令和6年6月～令和6年10月予定
応募方法 東広島市医療保健課082-420-0936
(担当:田村、重見)へご連絡ください

共同研究 (COMMONプロジェクト)

連携事業名：若者の自殺予防に資する心の健康教育プログラムの構築

実施者：広島国際大学健康科学部 西村太志教授 × 東広島市医療保健課

事業概要

大学生等を対象としたアンケート調査を実施し、自殺対策における東広島市の若者の課題を洗い出し、それに応じた心の健康教育プログラム(大学内での講座展開等)を構築する。

スマホ依存は抑うつ度を高める。また、スマホでつながったコミュニティの個人への影響は大きく、繋がったコミュニティの質によっては自殺の予防につながる場合もあれば、ほう助につながることもある。

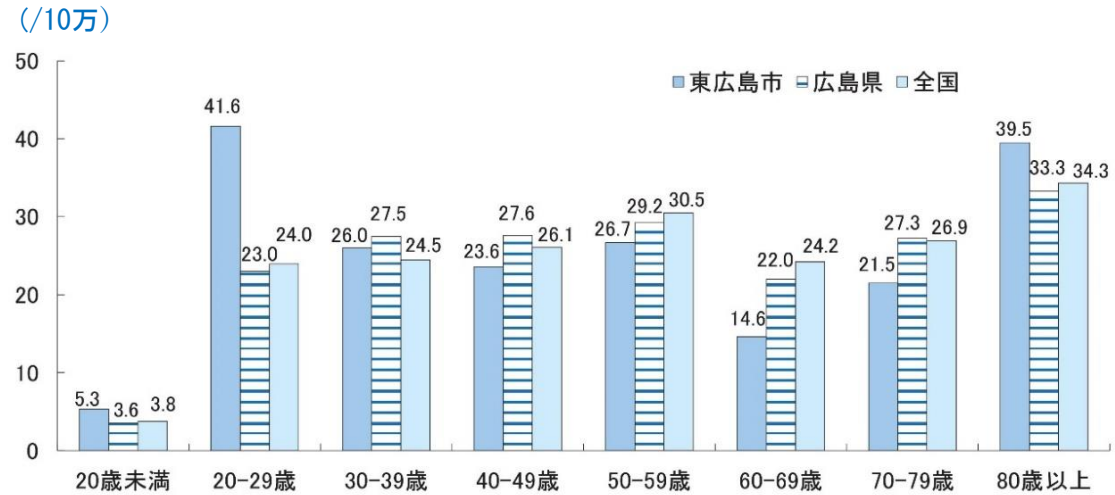
若者の自殺予防に効果的なスマホ利用に資する知見を抽出し、心の健康教育プログラム、自殺予防啓発プログラムに繋げる。

東広島市の若者の自殺者は増加傾向にあり、全国、広島県と比較しても若者の自殺率は高く、早急な対策強化が必要となっている。

- ①若者世代(大学生)の自殺予防に関する課題と現状の把握
- ②自殺予防につながる研修プログラムの開発
- ③市内で効果的な研修プログラムを展開

図表 男性の自殺死亡率(人口10万対)

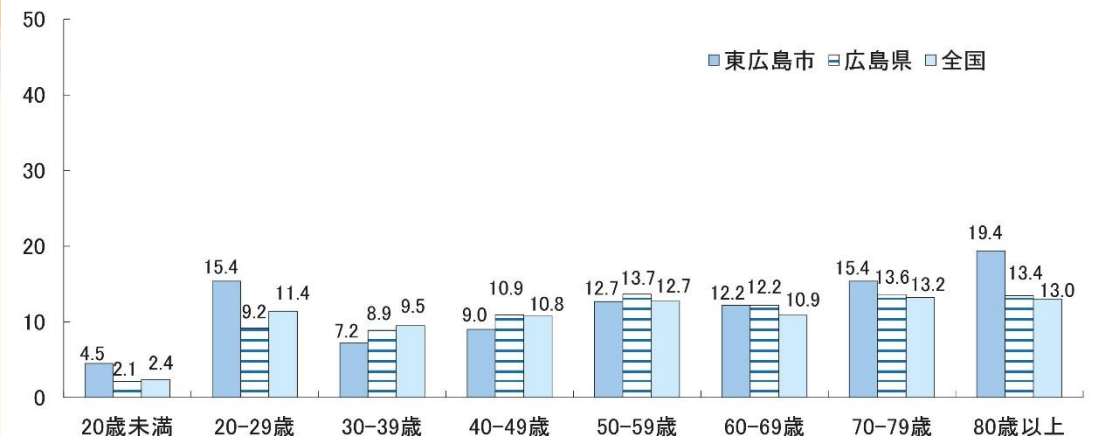
/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成29(2017)年～令和3(2021)年合計)



資料:東広島市地域自殺実態プロフィール(自殺総合対策推進センター)

図表〔女性の自殺死亡率(人口10万対)

/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成29(2017)年～令和3(2021)年合計)



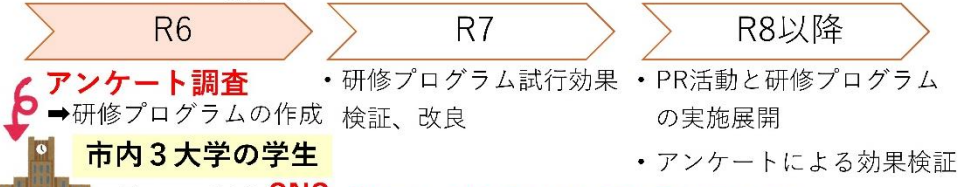
資料:東広島市地域自殺実態プロフィール(自殺総合対策推進センター)

内容

課題

目的

本プロジェクトの流れと今年度の取り組み
プロジェクト計画



- ①大学生の自殺に対する認識と現存する自殺対策への認知度の把握
- ②大学生のSNS利用状況や目的の把握
- ③SNS上の対人関係も含め、大学生はどのような対人関係(居場所)を築いているか
- ④③とメンタルヘルス、援助希求行動との関連の把握
- ⑤SNS上で精神的不調さを示す者や自殺に関する情報を得た際の心理的反応と対処行動についての把握



共同研究 (COMMONプロジェクト)

連携事業名：プレフレイル状態にある高齢者の生活習慣の改善及びトレーニング手法の開発

実施者：広島国際大学総合リハビリテーション学部 山崎貴博准教授 × 東広島市地域包括ケア推進課

事業概要

課題

介護予防の取り組みが必要と認められる者を対象に、保健・医療専門職が身体機能及び生活機能に関する問題を総合的に把握・評価し、通所により短期集中的に運動指導を中心とした介護予防事業を実施しているが、事業終了後に高齢者自身が自らの生活の中で、積極的な運動の取り入れや身体活動量の増大を図る生活習慣の見直しまでには至っていない。

目的

プレフレイル状態から症状が改善され健康な状態となった高齢者数が少ないため、通所型サービスC事業終了後に自らの生活の中で運動の継続や身体活動量の増大を定着させる手法を構築し、健康な高齢者数を増大する。

内容

通所サービスC終了後の利用者に対して、3か月間、定期的にオンライン会議ツールを用いた遠隔指導を実施し、運動の習慣化と身体活動量の増大を促し生活習慣の改善を図る。

通所サービスC事業 3か月

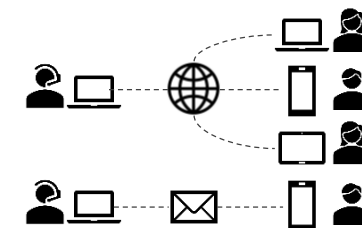
対象者: 主にフレイルが心配な人
内容: 会場に集まり、運動を中心とした3か月間12回(週1回2時間の開催)の教室
提供職種: 理学・作業療法士、健康運動指導士、看護師、管理栄養士、歯科衛生士



遠隔指導 3か月

対象者: 同上
内容: ①オンライン運動教室: オンライン会議ツールによる運動を中心とした教室。開始～1か月間は週1回、～2か月間は隔週で実施。②メール指導: 週1回のセルフマネジメントシートの確認

オンライン運動教室とメール指導



検査測定 遠隔指導後

聞き取り調査 1か月後

主な取り組み

- ① 教育
- ② 筋パワートレーニング
- ③ 呼吸筋トレーニング
- ④ 能動的行動変容



過去からの経緯



令和元年5月



連携協定
締結



令和元年6月



アンケート
分析・考察

【エビデンス】
健康を良好に保つうえで「睡眠」は重要
フレイル認知度 15.8%

令和2年6月



連絡協議会
立ち上げ
(東広島市健幸ステーション
連絡協議会)

令和2年11月



モデル地区で
フレサポ開始
モデル地区(黒瀬)
フレサポ127名



令和3年4月～



フレイル対策
プロジェクト
開始



令和6年4月



健康増進計画改定
TGO東広島健幸
ステーション運営開始



みんな健幸
プロジェクト
開始

健康寿命延伸を進めるために
「フレイル予防対策」と
「若い世代からの健康づくり」
に取り組む。

今後の展開①

●フレイル対策プロジェクトの後継(次のステージへ)
⇒高齢者だけでなく、若い世代を含めた展開が必要

すべての年代で5本柱
⇒**栄養、運動、睡眠、口腔、社会参加**



◎新プロジェクト「みんな健幸プロジェクト」(仮称)



今後の展開②

新プロジェクト「みんな健幸プロジェクト」
⇒ 第3次健康増進計画との連動：R6～R11

6つの重点施策

- ① 栄養：健康寿命の延伸につながる食生活の推進
- ② 運動：運動・身体活動の継続と習慣化につながる取組みの推進
- ③ 睡眠：休養・睡眠に関する知識の普及啓発
- ④ 健診：生活習慣病の早期発見、早期対応（健診受診率の向上）
- ⑤ 社会参加：社会参加の促進
- ⑥ 働く人の健康づくり：働く人の健康づくり支援

プラス

口腔：歯科保健と定期的な歯科検診の推進

企業連携 (商品開発・職場環境改善)

連携事業名 : 脳活や介護予防グッズの開発(感性工学×商品開発インターンシップ)

実施者 : 広島国際大学健康科学部 石原茂和教授 × (株)大創産業

事業概要

(株)大創産業で実施している「商品開発IS(インターンシップ)」を活用した商品既発を、大学講義「感性工学」等の実習フィールドとして毎年度継続的に取り組む。

「東広島市と大創産業との健康なまちづくりに関する連携協定」及び「東広島市と広島国際大学との健康なまちづくりに関する連携協定」に則り、広島国際大学で行う演習や実習の授業、課外活動などのなかで、(株)大創産業と連携した、商品開発を推進する。



市と大学が相互に連携・協力して健康づくりの推進を行い、市民の健康増進・健康寿命の延伸を図る。



商品開発IS

| | |
|-----------------|---|
| テーマ | 「時流に沿ったバッグ商品」を企画してください。売価は100円です。 |
| 参加予定日 | 2021年10月28日 商品開発インターンシップ① テーマ「時流に沿ったバッグ商品」 |
| 大学名・氏名 | |
| 商品名 (20文字以内) | ロング傘に使える吸水バッグ |
| 商品概要 | 濡れた傘でも快適に持ち運べる吸水機能のあるバッグ。建物に入るときや乗り物に乗るときに傘用ビニール袋がなくて水滴がボタボタ...、通勤電車では近くの人にも迷惑がかかってしまうこともしばしば...、そんなストレスを解消してくれるのがこの商品。袋の内側がマイクロファイバーでできており、濡れた傘でも服や手を濡らすずに済む。また、ショルダー紐を肩にかけて持ち運ぶだけでなくストラップ付なのでかばんに取り付けることができ、電車で立っているときなどに重宝する。バッグに水タンがあり長さを調節できるので長い傘だけでなく折り畳み傘やペットボトルも収納できる便利な。また、車内の傘入れとしても使用できる。 |
| マーケティング | コロナ禍で建物の入口で消毒や検温が実施されるようになり出入口の混雑が見受けられる。雨の日は傘用ビニール袋をどったり捨てたりするため余計に混雑するようになった。しかし自分で傘用の袋を持っていればスムーズに傘の出し入れができ、傘用ビニール袋が設置されていないところで困ることもなくなる。濡れた状態の長い傘は自分の服や荷物に濡らすだけでなく濡らした場所では周りの人にも不快な思いをさせてしまう。ペットボトルカバーや折り畳み傘用のカバーは多く出回っているが長い傘用の袋はあまり見かけないため、認知率を上げることができれば家族の人数分売れるだけでなく車に常備しておく用などで大活躍が期待される。現代主流の傘用のビニール袋は使い捨てのため社会問題となっているプラスチックゴミやビニールゴミを増やす原因となってしまうが、この商品は繰り返し使えて時流に沿ったエコなものである。ターゲットは特に絞らない。 |

- 人間の感性を測定・分析し、商品デザインに翻訳する技術
- 消費者の商品選択を支援: 自分の感性にあう商品
- 製品デザイナーを支援: 消費者の感性をさぐる



長町教授
2007年6月
第1回ヨーロッパ感性工学会議
(スウェーデン)の特別講演にて

心理学的測定方法 + AI 技術

本学 人間環境学部 (現 健康科学部) 初代学部長・名誉教授、
広島大学 工学部 教授・名誉教授
長町三生先生が1970年代初頭に考案、
以来、Ford、マツダ、日産自動車、トヨタ、Volvo、Boeing
SHARP、Panasonic、Samsung、HYUNDAI、
世界の製造業で応用



内容

経緯

目的

感性工学とは

事業概要

まだ新しく、これから普及を目指す車椅子ソフトボールについて、映像解析により、様々なデータ取得及び動作分析を行い、効果的な動作やトレーニングに繋げることで、選手のパフォーマンス向上、チームの強化に寄与する。
また、車椅子ソフトボールの業界の発展に寄与し、ユニバーサルスポーツとしての特性を活かし、社会的包摂の促進を目指す。

アメリカ発祥のスポーツ(40年以上前から) 日本では2013年からスタート

- 「健常者も含めた多くの人を楽しむことができるバリアフリーなスポーツ」としての普及を目指す
- 車椅子に乗ることが前提であり、障がいの重さ・性別・年齢においても分け隔てなく一緒に同じフィールドで楽しむことができる
(日本車椅子ソフトボール協会より)

●ソフトボールの特徴がベース

- ✓ スローピッチルールによるバッティングの楽しさ
- ✓ 車椅子での走塁によるスピード感
- ✓ 守備は捕球・送球+チェアスキルが必要
- ✓ 選手の接触があまり無い安全性
- ✓ チームスポーツとしての戦略性(障がいに応じたクラス分けとチーム編成)

目指せ、パラリンピック
正式種目入り!



対象 : 野球大好きな人
練習日 : 月2回くらい(土・日・祝)
練習場所 : スポーツ交流センターおりづるアリーナ
(東広島市田口 295-3)

- ★毎月1~2回 障がい者と健常者交えて楽しく練習しています♪
- ★小・中・高・大学生・社会人・日本代表選手 様々な方が活躍しています♪
- ★年3~4回 試合あります♪
- ★体験イベントあります♪

📍 見学・体験・入部
お気軽にお声がけください(^^)/



Instagram



Facebook

人材育成 (フィールドマッチング)

連携事業名 : 学生の学びの場としてのフィールド展開

実施者 : 広島国際大学健康科学部 橋本清勇准教授 × 地域・企業

事業概要

令和6年4月から、広島国際大学健康科学部に「社会学科」が新設されます。社会学科には二つの専攻があります。社会学科では、地域や企業をフィールドに実践的な学びを展開していきます。

①地域創生学専攻

歴史や観光資源、独自の産業などさまざまな魅力を持つ呉市のキャンパスを拠点にフィールドワークをはじめとする多様な実践ができます。「俯瞰的に全体を見る視点」を養い、大きな視野で、社会貢献できる人材を育てます。

②社会福祉学専攻

子育て世帯から高齢者まで幅広い世代の人が暮らす東広島市のキャンパスを拠点に地域住民との交流を重視した社会福祉実践を展開します。ひとりひとりをきめ細かくみる視点を養い、地域の「ひと」に寄り添う人材を育成します。



内容

地域創生学

社会福祉学



東広島健幸ステーションにおいても
マッチング中